

2019 春季生活闘争・妥結情報

2019.5.13 —第16号— 連合北海道 春季生活闘争本部

2019 春季生活闘争 第5回回答集計について

連合本部は、2019春季生活闘争につき、5月8日(水)10時時点で取りまとめた回答集計について、次の通り報告した。

- すべての組合が「底上げ・底支え」「格差是正」に重点を置き、月例賃金にこだわって交渉を追い上げた結果、妥結割合は7割を超え、賃金改善獲得組合割合はほぼ昨年並みの43.9%となった。
- 平均賃金方式では第4回回答集計(4月18日公表)以降、新たに683組合(うち組合員数300人未満の中小組合は594組合)が回答を引き出した。全体(3,715組合)の平均は6,217円・2.10%で、昨年同時期を156円・0.01ポイント上回った。中小組合は4,925円・1.99%と昨年同時期を若干下回ったが、100人未満の組合は初回集計から一貫して昨年同時期を上回っており、「賃上げ」の流れは力強く維持されているものと受け止める。
- 非正規労働者の賃上げ額(加重平均)は、昨年同時期比で時給1.14円増、月給88円増となった。月給の賃上げ率(試算)も2.08%で昨年同時期を上回った。
- 労働諸条件改善の取り組みは、「長時間労働の是正」「非正規労働者の雇用安定や処遇改善の取り組み」をはじめとして、多岐に亘る項目で前進回答を引き出した。

連合北海道における妥結報告(5月9日現在)のあった組合は145組合で、そのうち集計可能組合は134組(昨年比▲13)である。

賃金引き上げは、加重平均で6,158円・2.34%(定昇・ベア込)と、昨年同時期を妥結額では392円上回っている。300人未満の中小組合(104組合)では、昨年と比較して29円上回っているものの率では0.06ポイント下回った。

連合北海道2019春季生活闘争のエントリーは、274組合まで増加し、その半数弱の組合が、粘り強い交渉を今もなお続けている。連合北海道は、産別、地協と連携を取りながら、未解決組合の「賃上げ」獲得に、全力で取り組んでいく。

【組合規模別賃上げ状況 2019年5月9日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均 妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込み)	昨年比
～99人	70	2,871人	4,466円(1.92%)	4,203円(1.83%)	+263円(+0.09)
100～299人	34	5,977人	5,042円(2.08%)	5,164円(2.23%)	-122円(-0.15)
300人未満計	104	8,848人	4,845円(2.03%)	4,816円(2.09%)	+29円(-0.06)
300～999人	22	11,252人	5,325円(2.06%)	5,129円(1.94%)	+196円(+0.12)
1,000人～	8	18,071人	7,065円(2.59%)	6,901円(2.48%)	+164円(+0.11)
300人以上計	30	29,323人	6,458円(2.41%)	6,068円(2.23%)	+390円(+0.18)
計	134	38,171人	6,158円(2.34%)	5,766円(2.20%)	+392円(+0.14)

◎2019 春季生活闘争 北海道集計へのエントリー未報告の産別・地区ユニオンは、至急報告をお願いします。

◎要求・回答・妥結情報を集約中ですので、連合北海道2019 春季生活闘争本部までお知らせ下さい。

担当:山田・勝又・小野寺・渡辺・馬場 (TEL:011-210-0050 FAX:011-272-2255)